



2025年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2025年2月6日

上場会社名 ブラザー工業株式会社 上場取引所 東 名
コード番号 6448 URL <https://global.brother/ja>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 池田 和史
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務部担当 (氏名) 中島 聡 TEL 052-824-2075
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		事業セグメント利益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	658,759	7.5	69,146	12.2	64,080	4.9	68,109	7.6	50,416	8.1	50,407	8.1
2024年3月期第3四半期	612,766	△0.1	61,611	18.6	61,082	3.5	63,314	5.3	46,623	8.5	46,614	8.5

(注) 四半期包括利益合計額2025年3月期第3四半期 66,046百万円 (△11.7%) 2024年3月期第3四半期 74,826百万円 (40.6%)
事業セグメント利益は、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しております。

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	197.18	196.69
2024年3月期第3四半期	182.38	181.89

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第3四半期	946,919	708,492	708,415	74.8	2,770.99
2024年3月期	896,109	668,121	668,047	74.5	2,613.43

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	34.00	—	50.00	84.00
2025年3月期	—	50.00	—		
2025年3月期（予想）				50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		事業セグメント利益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当たり 当期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通期	875,000	6.3	80,000	5.8	76,000	52.6	80,000	52.3	57,000	80.0	57,000	80.1	円 銭 222.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期3Q	257,755,930株	2024年3月期	257,755,930株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	2,101,637株	2024年3月期	2,135,159株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期3Q	255,644,293株	2024年3月期3Q	255,594,709株

(注) 当社は、役員報酬BIP信託を用いた業績連動型株式報酬制度を導入しており、当該信託が保有する当社株式（2025年3月期3Q末 250,465株、2024年3月期末 250,465株）は、自己株式に含めて記載しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている情報のうち歴史的事実以外のものは、発表時点で入手可能な情報に基づく当社の経営陣の判断による将来の業績見通しであり、当社としてはその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、経済動向、為替レート、市場需要、税制や諸制度等に関するさまざまなリスクや不確定要素により大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

業績予想に関しては、【添付資料】P. 5「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

(決算説明会資料の入手方法について)

当社は、2025年2月6日（木）に機関投資家及びアナリスト向け説明会（オンライン説明会）を開催する予定です。当日の説明会資料については、TDnetで同日開示するとともに、当社ウェブサイトにも掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	6
(2) 要約四半期連結損益計算書	8
(3) 要約四半期連結包括利益計算書	9
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	10
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	12
(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(報告企業)	13
(重要性がある会計方針)	13
(重要な会計上の見積り及び見積りを伴う判断)	13
(セグメント情報)	13
(重要な後発事象)	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

文中における将来に関する事項は、当第3四半期連結会計期間の末日現在において、判断したものであります。
 なお、当社グループの業績管理は、事業セグメント損益及び営業損益により行われております。事業セグメント損益は、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しております。

①当第3四半期連結累計期間（2024年4月1日～2024年12月31日）の業績全般の概況

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、地政学的リスクが長期化していることに加え、各国における金融政策の変化や中国経済の低迷、為替の変動など、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループに関連する事業環境は、プリンティング市場では、欧米及び中国における市況は引き続き低調に推移しています。マシナリー事業の関連分野は、産業機器の市況は一進一退の様相を呈し回復に力強さが見られない一方、工業用ミシンはアジアにおけるアパレル向け設備投資需要が回復基調にあります。ドミノ事業の関連分野は、景気減速の影響を受け、設備投資需要が引き続き軟調に推移しました。ニッセイ事業の関連分野は、工場の自動化に向けた設備投資需要の回復が依然として遅れています。家庭用ミシンは、インフレなどの影響を受け、高級機の市況が軟調に推移しています。国内におけるカラオケ市場は、コロナ影響の収束に伴い市況は安定的に推移しています。

このような状況の中、当第3四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は、P&S事業では、通信・プリンティング機器は消耗品の販売が堅調に推移したことにより増収となりました。マシナリー事業では、地域により濃淡はあるものの、設備投資需要の緩やかな回復を受け、産業機器・工業用ミシンともに増収となりました。ドミノ事業では、設備投資需要は軟調だったものの、消耗品が堅調に推移したことにより、増収となりました。ニッセイ事業では、設備投資需要の低迷により、減収となりました。P&H事業では、中級機を中心に販売が堅調に推移したことにより、増収となりました。N&C事業では、カラオケ機器の販売などが堅調に推移し増収となりました。

これらに為替のプラス影響が加わり、売上収益は、前年同期比7.5%増収の6,587億5千9百万円となりました。事業セグメント利益は、販管費の増加などの影響を受けたものの、P&S事業における消耗品の価格対応効果や物流コストの減少に為替のプラス影響も加わり、前年同期比12.2%増益の691億4千6百万円、営業利益は、前年同期比4.9%増益の640億8千万円、親会社の所有者に帰属する四半期利益は、前年同期比8.1%増益の504億7百万円となりました。

*平均為替レート（連結）は次の通りです。

当期	米ドル	: 152.87円	ユーロ	: 164.91円
前年同期	米ドル	: 142.76円	ユーロ	: 155.19円

②当第3四半期連結累計期間の主なセグメント別の状況

1) プリンティング・アンド・ソリューションズ事業

売上収益 4,125億7百万円（前年同期比+7.6%）

●通信・プリンティング機器 3,600億8千5百万円（前年同期比+7.7%）

レーザー複合機・プリンターについては、欧州での市況の低迷が影響し製品本体は販売が減少しましたが、消耗品は各地域で堅調に推移しました。一方、インクジェット複合機は、製品本体は先進国・新興国ともに販売が伸長し、消耗品も堅調に推移しました。通信・プリンティング機器全体としては堅調に推移し、為替のプラス影響も加わり、増収となりました。

●ラベリング 524億2千1百万円（前年同期比+6.9%）

製品本体・消耗品ともに堅調に推移し、為替のプラス影響も加わり、増収となりました。

事業セグメント利益 566億4千6百万円（前年同期比+13.4%）

営業利益 546億5千4百万円（前年同期比+11.6%）

人件費を中心とした販管費などが増加したものの、消耗品の価格対応効果や物流コストの減少に為替のプラス影響も加わり、増益となりました。

2) マシナリー事業

売上収益 625億3千2百万円 (前年同期比+8.0%)

●産業機器 328億2千8百万円 (前年同期比+5.7%)

中国・アジアを中心に自動車・一般機械市場向けの設備投資需要が緩やかに回復し、増収となりました。

●工業用ミシン 297億4百万円 (前年同期比+10.8%)

ガーメントプリンターは、主に欧米での販売が減速した一方、工業用ミシンは、アジアにおけるアパレル向け設備投資需要の回復を受け、販売が好調に推移しました。これらに為替のプラス影響も加わり、全体では増収となりました。

事業セグメント利益 12億8千7百万円 (前年同期比△49.5%)

営業利益 12億8千3百万円 (前年同期比△51.5%)

増収となったものの、販管費の増加やミックスの悪化などにより、大幅な減益となりました。

3) ドミノ事業

売上収益 882億8千万円 (前年同期比+9.7%)

主に欧州・中国において設備投資需要が軟調に推移し製品本体の販売は減少したものの、消耗品が堅調に推移したことに加え、為替のプラス影響もあり、増収となりました。

事業セグメント利益 41億3百万円 (前年同期比△8.0%)

営業利益 35億3千5百万円 (前年同期比△6.9%)

人件費や基幹業務システムの刷新費用などの販管費の増加により、減益となりました。

4) ニッセイ事業

売上収益 149億3千3百万円 (前年同期比△5.9%)

設備投資需要の低迷により、減速機・歯車ともに販売が低調に推移し、減収となりました。

事業セグメント利益 3億4千9百万円 (前年同期比△63.2%)

営業利益 3億7千7百万円 (前年同期比△58.4%)

減収に加え、販管費が増加したことなどにより、大幅な減益となりました。

5) パーソナル・アンド・ホーム事業

売上収益 430億7百万円 (前年同期比+14.0%)

インフレや金利高などの影響は引き続き見られるものの、中級機・普及機の堅調な販売や、欧米で高級機の新製品の販売を開始したことに加え、為替のプラス影響もあり、増収となりました。

事業セグメント利益 45億4千4百万円 (前年同期比+232.3%)

営業利益 44億7千5百万円 (前年同期比+244.2%)

増収効果に加え、工場の操業度の正常化を含め粗利率が改善したことに伴い、大幅な増益となりました。

6) ネットワーク・アンド・コンテンツ事業

売上収益 290億5千2百万円 (前年同期比+2.0%)

カラオケ機器の販売などが堅調に推移したことにより、増収となりました。

事業セグメント利益 14億6千5百万円 (前年同期比△6.5%)

営業利益 15億9千3百万円 (前年同期比△7.8%)

人件費を中心とした販管費の増加などにより、減益となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産、負債及び資本の状況)

資産合計は、棚卸資産、現金及び現金同等物、営業債権及びその他の債権が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ508億9百万円増加し、9,469億1千9百万円となりました。

負債合計は、営業債務及びその他の債務が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ104億3千8百万円増加し、2,384億2千6百万円となりました。

資本合計は、親会社の所有者に帰属する四半期利益による利益剰余金の増加、在外営業活動体の換算差額の影響などにより、前連結会計年度末に比べ403億7千1百万円増加し、7,084億9千2百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

キャッシュ・フローの状況については、現金及び現金同等物（以下「資金」）は、営業活動により711億1千4百万円増加、投資活動により355億1千5百万円減少、財務活動により323億4千1百万円減少、為替変動の影響により50億6千6百万円増加した結果、当第3四半期連結会計期間末は前連結会計年度末と比べ83億2千3百万円増加し、1,744億6千9百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とその主な要因は、次の通りです。

1) 営業活動によるキャッシュ・フロー

税引前四半期利益は681億9百万円で、減価償却費及び償却費395億5千4百万円など、非資金損益の調整などによる資金の増加、営業債権及びその他の債権の増加による資金の減少33億4千7百万円、棚卸資産の増加による資金の減少217億2千3百万円、営業債務及びその他の債務の増加による資金の増加89億6千8百万円などがあり、法人所得税の支払額167億8千7百万円などを差し引いた結果、711億1千4百万円の資金の増加となりました。

2) 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出264億9百万円、無形資産の取得による支出71億1千4百万円などにより、355億1千5百万円の資金の減少となりました。

3) 財務活動によるキャッシュ・フロー

リース負債の返済による支出67億9百万円、配当金の支払額256億2千3百万円などにより、323億4千1百万円の資金の減少となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の通期業績予想につきましては、売上収益については、主にマシナリー事業を引き下げるものの、為替のプラス影響などを反映し、上方修正いたします。利益については、全社では2024年11月8日に公表した内容から変更ありませんが、事業セグメント別では、主に、P&S事業を上方修正、マシナリー事業を下方修正しております。

なお、通期連結業績予想の前提となる予想部分の為替レートは、ユーロについては1ユーロ=155円から変更してありませんが、ドルについては1米ドル=140円から1米ドル=145円へ変更しております。

(単位：億円)

	2025年3月期 予想 (A)	2024年3月期 実績 (B)	増減率 (A/B - 1)	2025年3月期 前回予想 (C)	増減率 (A/C - 1)
売上収益	8,750	8,229	6.3%	8,650	1.2%
事業セグメント利益	800	756	5.8%	800	0.0%
営業利益	760	498	52.6%	760	0.0%
税引前利益	800	525	52.3%	800	0.0%
当期利益	570	317	80.0%	570	0.0%
親会社の所有者に帰属する 当期利益	570	316	80.1%	570	0.0%
為替レート (円)					
米ドル	152.06	144.40		146.83	
ユーロ	163.38	156.80		160.97	

※上記表内の為替レートは、年間の平均レートです。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期 連結会計期間 (2024年12月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	166,146	174,469
営業債権及びその他の債権	131,591	136,965
その他の金融資産	7,417	7,974
棚卸資産	207,971	234,436
その他の流動資産	28,772	32,221
流動資産合計	541,899	586,067
非流動資産		
有形固定資産	147,757	149,860
使用権資産	32,602	30,235
投資不動産	5,801	5,376
のれん及び無形資産	97,241	97,375
持分法で会計処理されている投資	2,186	2,374
その他の金融資産	31,355	32,581
繰延税金資産	20,659	24,401
その他の非流動資産	16,606	18,646
非流動資産合計	354,210	360,851
資産合計	896,109	946,919

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期 連結会計期間 (2024年12月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	74,289	83,028
その他の金融負債	10,650	10,765
未払法人所得税	7,597	13,473
引当金	5,136	4,578
契約負債	7,010	7,058
その他の流動負債	62,059	60,327
流動負債合計	166,743	179,231
非流動負債		
社債及び借入金	600	600
その他の金融負債	29,478	26,051
退職給付に係る負債	16,182	16,940
引当金	3,968	4,425
繰延税金負債	7,219	7,304
契約負債	2,562	2,502
その他の非流動負債	1,232	1,370
非流動負債合計	61,244	59,194
負債合計	227,988	238,426
資本		
資本金	19,209	19,209
資本剰余金	17,920	17,860
利益剰余金	584,293	609,664
自己株式	△3,443	△3,428
その他の資本の構成要素	50,066	65,108
親会社の所有者に帰属する持分合計	668,047	708,415
非支配持分	73	77
資本合計	668,121	708,492
負債及び資本合計	896,109	946,919

(2) 要約四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上収益	612,766	658,759
売上原価	△348,423	△365,526
売上総利益	264,343	293,233
販売費及び一般管理費	△202,731	△224,086
その他の収益	3,619	1,291
その他の費用	△4,149	△6,358
営業利益	61,082	64,080
金融収益	4,993	4,899
金融費用	△2,992	△1,256
持分法による投資損益	231	386
税引前四半期利益	63,314	68,109
法人所得税費用	△16,690	△17,693
四半期利益	46,623	50,416
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	46,614	50,407
非支配持分	9	8
四半期利益	46,623	50,416
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	182.38	197.18
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	181.89	196.69

(3) 要約四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期利益	46,623	50,416
その他の包括利益		
純損益に振替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する資本性金融商品	258	588
純損益に振替えられることのない項目合計	258	588
純損益に振替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	27,944	15,041
純損益に振替えられる可能性のある項目合計	27,944	15,041
税引後その他の包括利益	28,202	15,630
四半期包括利益	74,826	66,046
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	74,817	66,037
非支配持分	9	9
四半期包括利益	74,826	66,046

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

親会社の所有者に帰属する持分

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本 の構成要素
	百万円	百万円	百万円	百万円	在外営業活動 体の換算差額 百万円
2023年4月1日時点の残高	19,209	17,849	568,055	△3,533	△4,962
四半期利益	—	—	46,614	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	27,944
四半期包括利益合計	—	—	46,614	—	27,944
自己株式の取得	—	—	—	△4	—
自己株式の処分	—	△38	△2	41	—
配当金	—	—	△17,421	—	—
株式に基づく報酬取引	—	3	—	—	—
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	—	—	258	—	—
所有者との取引額等合計	—	△34	△17,165	37	—
2023年12月31日時点の残高	19,209	17,815	597,503	△3,495	22,982

親会社の所有者に帰属する持分

その他の資本の構成要素

	その他の資本の構成要素		合計	非支配持分	合計
	その他の包括利 益を通じて公正 価値で測定する 資本性金融商品	合計			
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年4月1日時点の残高	—	△4,962	596,619	60	596,680
四半期利益	—	—	46,614	9	46,623
その他の包括利益	258	28,202	28,202	0	28,202
四半期包括利益合計	258	28,202	74,817	9	74,826
自己株式の取得	—	—	△4	—	△4
自己株式の処分	—	—	0	—	0
配当金	—	—	△17,421	△3	△17,424
株式に基づく報酬取引	—	—	3	—	3
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	△258	△258	—	—	—
所有者との取引額等合計	△258	△258	△17,420	△3	△17,423
2023年12月31日時点の残高	—	22,982	654,016	66	654,083

当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

親会社の所有者に帰属する持分

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本 の構成要素
	百万円	百万円	百万円	百万円	在外営業活動 体の換算差額 百万円
2024年4月1日時点の残高	19,209	17,920	584,293	△3,443	50,066
四半期利益	—	—	50,407	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	15,041
四半期包括利益合計	—	—	50,407	—	15,041
自己株式の取得	—	—	—	△5	—
自己株式の処分	—	△59	—	60	—
配当金	—	—	△25,623	—	—
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	—	—	587	—	—
その他	—	—	—	△40	—
所有者との取引額等合計	—	△59	△25,035	14	—
2024年12月31日時点の残高	19,209	17,860	609,664	△3,428	65,108

親会社の所有者に帰属する持分

	その他の資本の構成要素		合計	非支配持分	合計
	その他の包括利 益を通じて公正 価値で測定する 資本性金融商品	合計			
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年4月1日時点の残高	—	50,066	668,047	73	668,121
四半期利益	—	—	50,407	8	50,416
その他の包括利益	587	15,629	15,629	0	15,630
四半期包括利益合計	587	15,629	66,037	9	66,046
自己株式の取得	—	—	△5	—	△5
自己株式の処分	—	—	0	—	0
配当金	—	—	△25,623	△5	△25,629
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	△587	△587	—	—	—
その他	—	—	△40	—	△40
所有者との取引額等合計	△587	△587	△25,669	△5	△25,674
2024年12月31日時点の残高	—	65,108	708,415	77	708,492

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	63,314	68,109
減価償却費及び償却費	34,997	39,554
金融収益及び金融費用 (△は益)	△2,000	△3,643
持分法による投資損益 (△は益)	△231	△386
固定資産除売却損益 (△は益)	367	2,034
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	6,487	△3,347
棚卸資産の増減額 (△は増加)	21,933	△21,723
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	△18,230	8,968
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△1,512	△1,361
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	611	563
その他	1,256	△4,929
小計	106,993	83,840
利息の受取額	2,676	4,424
配当金の受取額	464	602
利息の支払額	△719	△965
法人所得税の支払額	△5,210	△16,787
営業活動によるキャッシュ・フロー	104,203	71,114
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△27,857	△26,409
有形固定資産の売却による収入	510	240
無形資産の取得による支出	△6,622	△7,114
資本性金融商品の取得による支出	△840	△1,048
資本性金融商品の売却による収入	1	349
負債性金融商品の取得による支出	△3,541	△3,845
負債性金融商品の売却又は償還による収入	6,883	3,989
事業の取得による支出	△157	—
その他	△1,025	△1,676
投資活動によるキャッシュ・フロー	△32,648	△35,515
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△15,613	—
長期借入金の返済による支出	△19,997	—
リース負債の返済による支出	△6,458	△6,709
配当金の支払額	△17,421	△25,623
自己株式の取得による支出	△2	△3
非支配持分への配当金の支払額	△3	△5
その他	4	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△59,491	△32,341
現金及び現金同等物に係る為替変動による影響	2,236	5,066
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	14,299	8,323
現金及び現金同等物の期首残高	119,042	166,146
現金及び現金同等物の四半期末残高	133,342	174,469

(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(報告企業)

ブラザー工業株式会社（以下、「当社」）は日本に所在する株式会社であります。当社の要約四半期連結財務諸表は、当社及びその子会社（以下、「当社グループ」）、並びに当社の関連会社に対する持分により構成されております。

当社グループが営む主な事業内容は、プリンティング・アンド・ソリューションズ事業、マシナリー事業、ドミノ事業、ニッセイ事業、パーソナル・アンド・ホーム事業、ネットワーク・アンド・コンテンツ事業及びその他事業の7事業であります。各事業の内容については注記「セグメント情報」に記載しております。

(重要性がある会計方針)

本要約四半期連結財務諸表において適用する重要性がある会計方針は、前連結会計年度に係る連結財務諸表において適用した会計方針と同一であります。

なお、要約四半期連結財務諸表における法人所得税費用は、税引前四半期利益に対して、見積平均年次実効税率を用いて算定しております。

(重要な会計上の見積り及び見積りを伴う判断)

IFRSに準拠した要約四半期連結財務諸表の作成において、経営者は、会計方針の適用並びに資産、負債、収益及び費用の金額に影響を及ぼす判断、見積り及び仮定を行うことが要求されております。実際の業績は、これらの見積りとは異なる場合があります。

見積り及びその基礎となる仮定は継続して見直されます。会計上の見積りの見直しによる影響は、見積りを見直した会計期間及びそれ以降の将来の会計期間において認識されます。

経営者が行った本要約四半期連結財務諸表の金額に重要な影響を与える見積り及び判断は、前連結会計年度に係る連結財務諸表と同様であります。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは報告セグメントを事業別とし、「プリンティング・アンド・ソリューションズ事業」、「マシナリー事業」、「ドミノ事業」、「ニッセイ事業」、「パーソナル・アンド・ホーム事業」、「ネットワーク・アンド・コンテンツ事業」、「その他事業」の7つにおいて、取り扱う製品・サービスについて国内及び海外の包括的な戦略を立案し事業活動を展開しております。

報告セグメントの損益は、営業損益をベースとしております。また、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除した事業セグメント損益についても、報告セグメントごとに開示しております。

(2) セグメント収益及び業績

当社グループの報告セグメントによる収益及び業績は以下の通りであります。
 なお、セグメント間の売上収益は、市場実勢価格に基づいております。

前第3四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）

	報告セグメント							合計	調整額 (注) 2	連結
	プリンテ ィング・ アンド・ ソリュー ションズ	マシナリ ー	ドミノ	ニッセイ	パーソ ナル ・アン ド・ ホーム	ネット ワーク・ アンド・ コンテン ツ	その他 (注) 1			
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
売上収益										
外部収益	383,431	57,874	80,440	15,866	37,742	28,477	8,933	612,766	—	612,766
セグメント間収 益	—	—	—	—	—	—	9,388	9,388	△9,388	—
収益合計	383,431	57,874	80,440	15,866	37,742	28,477	18,322	622,154	△9,388	612,766
事業セグメント利 益	49,968	2,548	4,461	949	1,367	1,567	797	61,661	△50	61,611
その他の収益及 びその他の費用	△993	97	△662	△42	△67	160	978	△529	—	△529
営業利益	48,975	2,646	3,798	906	1,300	1,728	1,776	61,132	△50	61,082
金融収益及び 金融費用										2,000
持分法による 投資損益										231
税引前四半期利益										63,314

その他の項目

	報告セグメント							合計	調整額	連結
	プリンテ ィング・ アンド・ ソリュー ションズ	マシナリ ー	ドミノ	ニッセイ	パーソ ナル ・アン ド・ ホーム	ネット ワーク・ アンド・ コンテン ツ	その他 (注) 1			
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
減損損失	—	—	—	—	—	2	—	2	—	2

(注) 1. その他には不動産事業等を含んでおります。

2. セグメント損益（営業損益）の調整額△50百万円はセグメント間取引消去であります。

当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

報告セグメント

	プリンテ	マシンナ	ドミノ	ニッセイ	パーソナ	ネット	その他	合計	調整額 (注) 2	連結
	ィング・	リ			ル	ワーク・	(注) 1			
	ソリュー	ー			・アン	アンド・				
	ションズ				ド・	コンテン				
					ホーム	ツ				
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
売上収益										
外部収益	412,507	62,532	88,280	14,933	43,007	29,052	8,445	658,759	—	658,759
セグメント間収益	—	—	—	—	—	—	10,438	10,438	△10,438	—
収益合計	412,507	62,532	88,280	14,933	43,007	29,052	18,883	669,197	△10,438	658,759
事業セグメント利益	56,646	1,287	4,103	349	4,544	1,465	769	69,166	△19	69,146
その他の収益及びその他の費用	△1,991	△4	△568	28	△68	128	△2,590	△5,066	—	△5,066
営業利益又は営業損失 (△)	54,654	1,283	3,535	377	4,475	1,593	△1,820	64,099	△19	64,080
金融収益及び金融費用										3,643
持分法による投資損益										386
税引前四半期利益										68,109

その他の項目

報告セグメント

	プリンテ	マシンナ	ドミノ	ニッセイ	パーソナ	ネット	その他	合計	調整額	連結
	ィング・	リ			ル	ワーク・	(注) 1			
	ソリュー	ー			・アン	アンド・				
	ションズ				ド・	コンテン				
					ホーム	ツ				
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
減損損失	—	—	—	—	—	1	—	1	—	1

(注) 1. その他には不動産事業等を含んでおります。

2. セグメント損益 (営業損益) の調整額△19百万円はセグメント間取引消去であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。